



新車両にはたくさんの親子が乗車して、乗り心地を体感しました



あいさつする西肥自動車の山口代表取締役社長



地元住民組織などが運営する「コミュニティバス」を展示

いまりんバス

IMARIBUS

市街地線新車両出発

3月20日に、いまりんバス市街地線の新車両出発式が市民センターでありました。市街地線は、平成17年1月に運行を開始し、これまで約70万km走行していて、これは地球を17周回った距離になります。

今回、新型コロナウイルス感染症対策として、乗車スペースの確保や換気機能を向上させたノンステップ車両にリニューアル。出発式では、運行を委託する西肥自動車株式会社の山口健二代取締役社長が、「皆さんに愛されるバスにしていきます」とあいさつし、深浦弘信市長の合図で新車両は出発しました。



昭和自動車株式会社が『路線バス乗り方教室』を開催



テープカットのあと、新車両がいよいよ出発します



人の動き

令和3年4月1日現在

- 人口 53,734人 (-151)
 - 男 26,027人 (-63)
 - 女 27,707人 (-88)
 - 世帯 23,545世帯 (+47)
- ()は前月比

この冊子は、1部当たり約31円で作成しています(人件費など間接経費は含まれていません)。また、企業広告による掲載料は、広報伊万里の作成費の貴重な財源となっています。

- 発行日/令和3年5月1日
- 発行編集/伊万里市情報政策課シティプロモーション推進室 ☎(0955)23-4313(直通) 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1
- 伊万里市のホームページ <https://www.city.imari.saga.jp/> ●印刷/山口印刷株式会社

編集室から

桜も散り、あっという間に5月になりましたね。新生活や新しいチャレンジなどを始めた人も多いと思います。かくいう私も、今回縁あって、4月から新しく広報の担当となりました。この広報紙が私のデビュー作です。これまでの仕事は窓口対応が主だったこともあり、扱い慣れない編集ソフトや初めての校正作業には苦戦しました(汗)。しかし、取材や編集作業の中で、伊万里の自然豊かな風景やコロナ禍の中でも、マスクをつけて外で元気に遊ぶ子どもたちにとっても元気づけられます。いつまでも子どもたちの笑顔があふれる伊万里であってほしいです。これから、たくさんの『いまりで、決まり!』を見つけながら、皆さんに楽しんでもらえる広報紙を作っていきたいと思っています。(千)